

単元の進行表

【ステップの流れ】

【教師の支援及び準備】

STEP1

誰にとっても分かりやすい質問とはどんなものかみんなで考えよう

- 「ものの名前のあてっこ」遊びを通して分かりやすいヒントとは何か考える

STEP1

誰にとっても分かりやすい質問とはどんなものかみんなで考えよう

- 「ものの名前のあてっこ」遊びをした結果をもとに、誰にとっても分かりやすいヒントとはどんなものかとまとめる

STEP2

コンピュータに出す質問を考えて、コンピュータと「ものの名前のあてっこ」をしよう

- コンピュータに出そうと思う質問をワークシートに書き、それをもとにしてコンピュータと「ものの名前のあてっこ」をする

STEP2

コンピュータに出す質問を考えて、コンピュータと「ものの名前のあてっこ」をしよう

- コンピュータと「ものの名前のあてっこ」をして、気づいたことを発表しよう

STEP3

自分で調べたいことをみつけて、必要な情報を「みっけ」の対話型検索機能を使って、集めよう

- 自分で調べたことや友達の発表を聞く中で、もっと詳しく調べたいと思う課題を見つける

STEP3

自分で調べたいことをみつけて、必要な情報を「みっけ」の対話型検索機能を使って、集めよう

- 課題を解決するために「みっけ」の対話型検索機能を使って情報を収集する

授業前日まで

- ・学校の周りにどんなものがあるかだいたい把握しておく
- ・各家庭に「家族でものの名前のあてっこ」遊びをすることを手紙などで知らせておき、協力をお願いしておく

- 誰にとってもわかりやすいヒントとは、大きさ、形、色などの特徴で物事をとらえることであることを押さえさせる

【準備物】 ワークシート1、ワークシート2

- 情報検索エンジン「みっけ」の対話型検索機能を使って検索させる

- うまくいかない場合は、先生や友達にアドバイスをもらうよう指示し、どの子も答えが導き出せるようにする

【準備物】 ワークシート3、
情報検索エンジン「みっけ」

- うまくいかなかった例については、どのようなやり方をすればよかったか話し合いをさせながら修正を加え、もう一度検索をさせなおし、全員がうまく検索できるようにさせる

【準備物】 ワークシート4

課題例

- ・自分の地区に住んでいる生き物調べ
- ・季節によって見られる植物の名前調べ
- ・川の上流、中流、下流に住む魚（貝）の名前調べ

【準備物】 ワークシート5

- 自分で特徴を考えさせ、それにどのような値（ことばや数字）を入れていけばよいか考えさせながら検索をさせる

- わかったことは、ワークシートにまとめさせる

【準備物】 ワークシート6

情報検索エンジン「みっけ」

